



大分高等技術専門校 特集

大分県立大分高等技術専門校は、メカトロニクス科、電気設備科、自動車整備科、木造建築科、空調配管システム科の5つの訓練科を持つ、幅広い年齢層（18～39歳）を対象にした公共職業能力開発校です。1～2年で、ものづくりやライフラインを支える専門技術・技能と資格取得をめざし、多くの修了生が現場の第一線へと巣立っています。

今回は、高校新卒から社会人経験者まで、年齢もバックグラウンドも異なる5人の訓練生に集まってもらい、「なぜこの学校を選んだのか」「どんなことを学び、どんな将来を描いているのか」を聞きました。

5人の現役訓練生に聞く！



空調配管システム科
末清 光さん（38歳）
（すえきよひかる）



木造建築科
山下 陸さん（23歳）
（やましたりく）



自動車整備科
切封 結風さん（18歳）
（きりふゆな）



電気設備科
松本 貴寛さん（28歳）
（まつもとたかひろ）



メカトロニクス科
浅野 峻介さん（25歳）
（あさの しゅんすけ）

今、どんなことを学んでいますか。

末清（空調配管システム科）

電気・上下水道・ガス・空調設備など、ライフラインに関わる内容を一通り学んでいます。座学で基礎を押さえたうえで、図面を見ながら自分たちで配管を組む実習が多く、設備の施工や管理に必要な知識を「広く深く」身につけている感覚です。

山下（木造建築科）

地盤強度やコンクリート基礎の考え方といった建築の基礎学科から始まり、午後は継手・仕口の加工などの実習が中心です。今は模擬家屋の墨付けと加工を進めていて、設計から建て方、解体まで「家一軒」の施工を通して学べるのが魅力だと感じています。

切封（自動車整備科）

午前は学科で故障診断や電気回路の基礎、午後は板金塗装などの実習をしています。傷が入った車を自分たちで直すなど、現場に近い内容が多く、1年間のカリキュラムですが、必要なことをぎゅっと詰め込んで学んでいる印象です。

松本（電気設備科）

法律や規格、計算などの学科に加え、屋内配線の実習をしています。実習盤にコンセントやブレーカーを取り付け、図面どおりに配線して実際に電気を流すことで、「教科書の知識」が「手で覚える技術」に変わっていくのを感じます。

入学後の印象に残った学びは？

浅野（メカトロニクス科）

機械・電気・情報を幅広く学べるのが特徴です。現在は総合課題実習で、班ごとに装

置を設計し、加工・組立・配線・制御まで行っています。マイコンを使った制御プログラムは苦戦しますが、機械と電気がつながる面白さを実感しています。

一日の流れや学校生活はどうですか。

末清：8時30分の朝礼から16時00分まで、授業と実習でびっしりです。私は前職で教員をしていたので、「教える側」から「教わる側」に変わった今はただただ楽しいです。社会人経験者も多く、お互いの事情を分かり合いながら、いい意味で大人同士のクラスという雰囲気です。

山下：木造建築科は7人の少人数で、年齢も近いので打ち解けやすかったです。距離感はいいいクラスメイト。放課後には一緒に釣りや食事に行くこともありつつ、集中するときは黙々と作業する、そのバランスが心地よいですね。

切封：自動車整備科は男性が多いですが、実習では男女関係なく同じ作業をします。通学に片道2時間かかる日もありますが、好きな音楽を聴きながらの一人時間もリフレッシュになっています。企業訪問や多くの修了生との交流会も印象に残っています。

松本：久しぶりの「学校生活」なので、最初は勉強のリズムを取り戻すのが大変でした。ただ、分からないところを休み時間に先生に聞きに行くと、丁寧に教えてもらえます。同年代の社会人経験者もいて、お互い励まし合える環境です。

浅野：メカトロニクス科は2年間学べるので、ほかの科より少しペースに余裕があり、資格試験にもじっくり取り組み、上位資格を取ることができました。技能祭などのイベントでは、他校の訓練生や競技会の選手

を見て刺激を受けました。「自分ももっと上を目指したい」と思える機会が多いです。

修了後の進路や、将来のビジョンを教えてください。

末清：まずは空調や電気の現場で経験を積み、いずれは一人親方として独立したいと考えています。ライフラインに関わる仕事は人の暮らしに直結していて、やりがいも大きい分野です。前職に戻る選択肢もありますが、今は「自分で仕事をつくる」未来を描いています。

山下：手加工にこだわる大工として、現場で信頼される棟梁になるのが目標です。まずは一般住宅を建てる会社に勤めて経験を積み、その先で独立するか、大工の兄と一緒に仕事をするかを考えています。

切封：修了後は自動車ディーラーに整備士として就職します。インターンシップで会社の雰囲気はつかめました。人間関係や技術面の不安は正直あります。それでも経験を積みながら、自分の力で一人前の自動車整備士になりたいと思っています。

松本：電気工事会社に就職し、まずは現場で腕を磨きます。そのうえで、将来は設計や施工管理にも挑戦したいです。電気工事士だけでなく、施工管理技士の資格取得も視野に入れ、「現場も分かる設計・管理者」になるのが目標です。

浅野：製造系の会社に就職しますが、前職で身につけた機械組立の技能に加え、機械加工や設計、電気の基礎を学べたことで、仕事の見え方が大きく変わりました。30代、40代になっても新しい技術を学び続け、「この分野なら任せられる」と言われる技術者を目指したいです。

企画・制作：
（株）読売広告西部

広告



ここでの学びが、
大分の“ものづくり”を支える。

大分県立 大分高等技術専門校

所在地／〒870-1141 大分県大分市大字下宗方1035-1
TEL:097-542-3411FAX:097-586-1121

【設置学科】

メカトロニクス科/電気設備科
自動車整備科/木造建築科/空調配管システム科



Instagram



ホームページ

フア-ネス重工 株式会社
Furnace Juko Co., Ltd.

代表取締役社長 坂本 仁

事業内容

ロータベクトシリーズ炉床回転型加熱炉及び熱処理炉
BRC、RC、シリーズ加熱炉及び熱処理炉
自動鍛造と直結した熱処理炉の一貫生産設備

本社・埼玉製作所

埼玉県吉川市上内川 940 番地 TEL048-991-7121 (代)

大分製作所

大分県竹田市渡瀬 633 番地の1 TEL0974-63-0004 (代)

～あなたの町をもっと明るく～
大熊電設株式会社

代表取締役社長 立花 学

大分県大分市大字光吉 456-2
TEL:097-569-1266

共に前進 共に繁栄

大分県立大分高等技術専門校
電気設備科 卒業生（計4名）
2011年(1名) 2020年(1名)
2015年(1名) 2025年(1名)

株式会社 大島電設 〒874-0932 大分県別府市新港町 1-18
TEL0977-25-3838 FAX0977-25-3942

私たちは大分高等技術専門校の人材育成を応援しています。

（順不同）